回覧

笠郷通信 友愛

令和8年9月1日
【第300号】文責発行責任者
笠郷公民館長　田中　和一

大盛況だった夏祭り！

今年も、好天に恵まれ、笠郷地区夏祭り･盆踊り大会を笠郷小学校校庭にて開催（8月16日）しました。当日は、村下県議さん、川地町長さん、西脇町議さん始め多くのご来賓をお迎えするとともに、多数の区民の皆さんに参加していただき、大変な賑わいで大盛況でした。

会場内では、バザー等に興じる幼児･園児･児童の元気な声が響き亘り、踊りの輪の皆さんは心地よい汗を流し、全員笑顔に包まれていました。（ちなみに、参加人数は過去最高の約800名でした。）

また、本夏祭り開催に当たり、養老おどり保存会、婦人の会、体育委員会を始めとする各種団体の皆さま、並びに多くの関係者の皆様のご支援･ご協力･ご尽力に心から感謝しお礼申し上げます。

本当に有難うございました。

また、夏祭りのCCNet12 チャンネルでの放送は、番組名は「ウィークリーようろう」で、2026 年 9 月 21 日（月）～9 月 27 日（日）の 7:00～、8:00～、12:00～、15:00～、18:00～、19:00～、22:00～、の予定です。

【広げよう　笠郷の豊かな文化】

子ども育成会による『花壇コンクール審査の実施』

今年も、各地区の子ども会花壇（14 か所）審査を、久冨（東部中）校長先生、西脇（笠郷小）校長先生、西脇町議を始め関係者により、8 月 20 日（木）に実施しました。今年も、種まき･苗の移植から各花壇への搬出に亘る作業を『子ども会育成会と町民会議とのコラボ施策として』一元的に行いましたので、ほぼ全ての花壇も条件的には同じです。どの花壇も、丹精込めて維持管理されており素晴しい出来栄えでした。また、育成過程を記録として残す日誌のレベルも格段にアップしていました。

審査の結果、最優秀賞は、『構子ども会』、優秀賞は『西江下子ども会』と『和田子ども会』でした。

受賞された子ども会の皆さんおめでとうございます。

【審査員の独り言】

最優秀賞　構子ども会

優秀賞　西江下子ども会

優秀賞　和田子ども会

審　査　風　景

【高めよう　笠郷の美しい品性】

笠　郷　地　区　町　民　運　動　会

2026年　10月11日　日　8:30～15:00

雨天の場合は、翌日（月）スポーツの日

会場　：　笠郷小学校グランド

（裏面に防災関連情報あり）

防災豆知識
（災害は忘れたころにやってくる・備えあれば患いなし！！）

2026年の防災週間（令和8年）　**8月30日（日）～9月5日（土）**

毎年9月1日は防災の日で、防災の日を中心とした1週間が防災週間となっています。この機会に、防災グッズの準備や点検を行い、家族で防災や防災グッズについて話し合いをするなどして、災害についての認識を高めましょう。

2026年（令和8年）の防災週間は8月30日(日)から9月5日(土)まで、防災の日は9月1日(月)となっています。

由来は関東大震災

防災の日が9月1日に制定されたのは、1923年に大被害をもたらした『関東大震災』に由来しています。9月1日は、関東大震災が起きた日なのです。
また、古くから伝わっている『二百十日』も、9月1日が選ばれた由来とされています。二百十日とは立春から数えて210日目の日を指し、現在の暦では9月1日前後です。この時期は、台風が襲来し、稲作などが大被害を受けやすい厄日とされていました。
実際には、その時期が特に台風が襲来しやすいというデータはありませんが、台風シーズンに備えて警戒するという意味があったとされています。

伊勢湾台風が制定の決め手に

防災の日が制定される決め手となった災害が、59年の『伊勢湾台風』です。伊勢湾台風は、明治以降に襲来した台風の中で最も多い犠牲者を出した台風です。
台風自体の規模は、観測史上最強で最大とされていた台風と比較すると、半分程度の勢力でした。勢力がそれほど強くないにもかかわらず想像を絶する犠牲者が出た要因は、高潮の発生と臨海の低平地エリアの堤防が崩壊したことと考えられています。
これらの被害を受けたことが、不十分であった防災対策を見直すきっかけとなり、防災の日の制定にもつながったのです。

参考：「防災の日」及び「防災週間」について：防災情報のページ－内閣府